

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成24年7月12日(木) (19:00~20:05)		
実施場所	(株)上野 2階会議室	参加人数	12人
参加対象	川西農業生産組織連絡協議会		
市側の出席者	市長 税務課主査、川西支所地域振興課主査		
懇談内容	<p><b>【懇談要旨】</b></p> <p><b>1. 発言者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原発事故に対する危機管理に関連して、国道252号線が柏崎市・刈羽村の住民の避難ルートになる可能性があると聞いている。市道浅河原新町新田線は圃場整備を機に整備された道路で、大型車が通ることを想定していない。道路幅幅により交通安全の確保を図れないか。</li> <li>・小根岸にJR東日本より橋をかけていただけることになっているが、その先の計画をはっきりさせていただきたい。</li> </ul> <p><b>A 関口市長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私としては流雪溝の整備が重要でないかと考えている。川西地域の生活基盤整備、特に道路網は、比較的進んでいると思われる。どの分野にこれから重点的に投資をしていくか地域のみなさんのコンセンサスを形成していただかなければならないと思う。</li> </ul> <p><b>2. 発言者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地の芸術祭が始まるが、川西地域の1番の大地の芸術は田んぼの風景ではないかと思う。前回中里地域で風景を素材にした作品があったが、次回、川西地域でも風景を素材にした作品を作れないか。</li> </ul> <p><b>A 関口市長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品をとおして地域の皆さんの生活、お年寄りのにこやかな様子を見ていただきたいと思っている。いい郷であるというコンセプトを大事にして芸術祭を開催していきたい。</li> </ul> <p><b>3. 発言者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行での農業体験の受け入れに協力してもらえないかと、相談された。現状どのように行われているか、詳しく知りたい。</li> </ul> <p><b>A 関口市長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上越市と十日町市で協力して行っている、越後田舎体験事業というものがある。十日町市では松代・松之山地域を中心に行っている。内容とし</li> </ul>		

ては、1泊は民泊で、もう1泊は宿泊施設となっている。1軒に4・5人宿泊する。合併以降、六箇地区、中里地域でも行い始めている。

#### 4. 発言者

- ・グリーンライナーはすごくいいと思う。しかし、運行日程を年度始まりの早い時期に決めていただけないか。
- ・ぜひ継続していただきたい。

#### A 関口市長

- ・今後も継続していきたいと思っている。さらに改良していきたい。

#### 5. 発言者

- ・川西地域は全域をカバーする形で農業生産法人が設立されている。設立時は補助制度などがたくさんあるが、設立してしまうと、補助制度がまったくなくなってしまう。機械の更新時の補助制度が作れないものか。

#### A 関口市長

- ・地域の農業を持続可能なものにするために大事なものは、皆さんから儲けていただけることであると思っている。その一定の段階になるまで支援を継続していくべきと考える。

#### 6. 発言者

- ・国の施策で人・農地プランというものがある。十日町市も初期プランを策定していると思う。市が一つのプランを作っても、最終的には各集落でプランの策定をしなければならず、策定に関して難儀をしている。策定にあたり中間支援組織を設けてアドバイス等にあたってもらわなければならないかと思う。
- ・プランが早く決まると、メニューの中の青年就農給付金制度が使えるのではなかと考えている。さらに生産法人に就職すると、5年間支援の期間が延びる。そうすればリーダーになれる人を育成できるのではないか。

#### A 関口市長

- ・担い手を育成していくことは非常に重要だと思う。策定に当たり、ご迷惑をおかけして申し訳ない。いろいろな対応のできるフットワークのいいところを作っていければ、と思う。実態を勉強して検討していきたい。